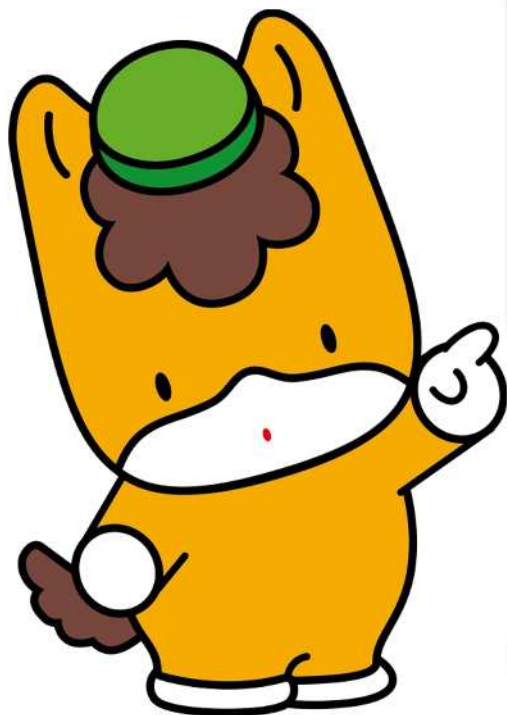


STOP! 転倒災害

群馬労働局 労働基準部 健康安全課



群馬県のマスコット {くまちゃん} 許諾第 30-100152 号

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。

職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。

できるところから少しずつ取り組んでいきましょう!!

テントウムシ
(転倒無し) 運動
実施中!!



平成30年における「転倒災害」は、休業4日以上の労働災害の中で**20.7%**を占め、**ワースト1位**となっています。

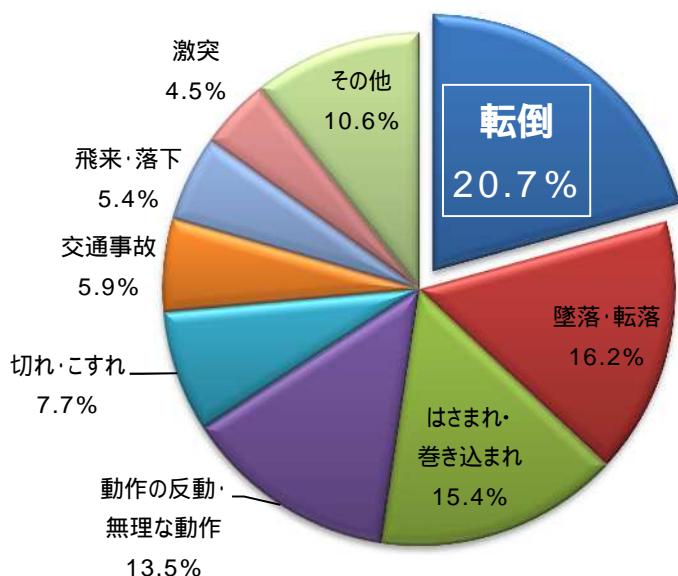


図-1 全産業での事故の型別労働災害発生状況 (平成30年)
資料: 労働者死傷病報告

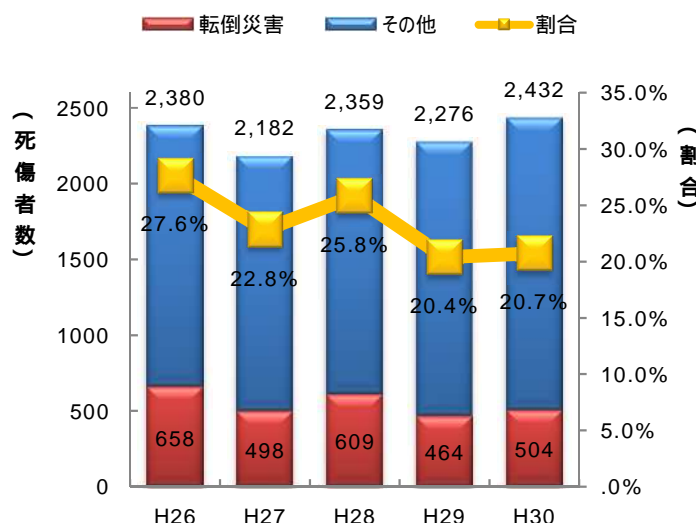


図-2 転倒災害の年別推移 (平成26年~平成30年)
資料: 労働者死傷病報告

業種別では、**製造業** 141 件(28.0%)、**保健衛生業** 88 件(17.5%)、**商業** 69 件(13.7%)、**接客娯楽業** 59 件(11.7%)で、これらの業種で**全体の 7 割以上**を占めています。

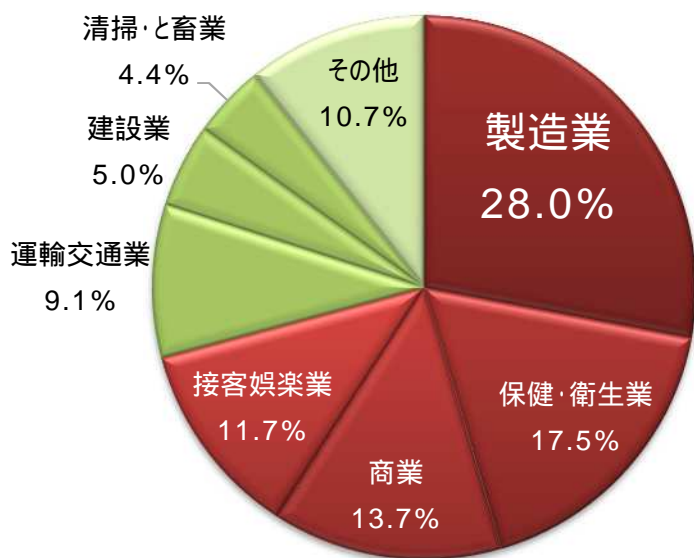


図 3 業種別労働災害発生状況 (平成 30 年)
資料：労働者死傷病報告

「**転倒災害**」は **50 歳以上**で**全体の約 7 割**を占めています。これは加齢による体力の衰え・身体機能の低下が考えられます。また、一般的に女性は男性より筋肉量が少ないこともあるため、転倒時の衝撃を和らげることができず、まともに大きな衝撃を受けやすいので注意が必要です。

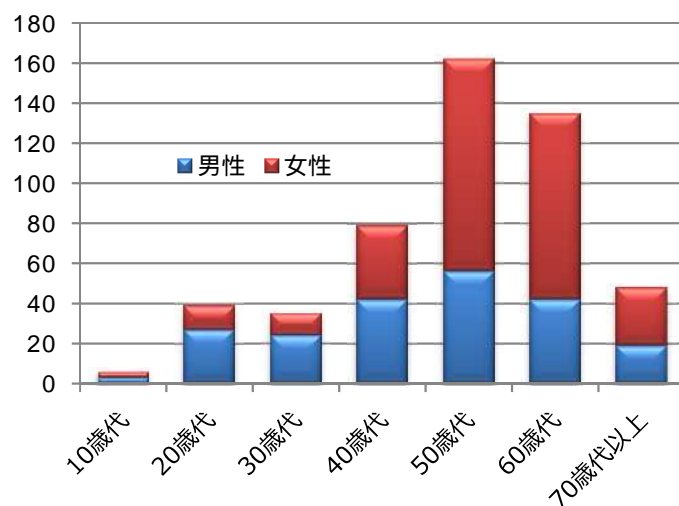
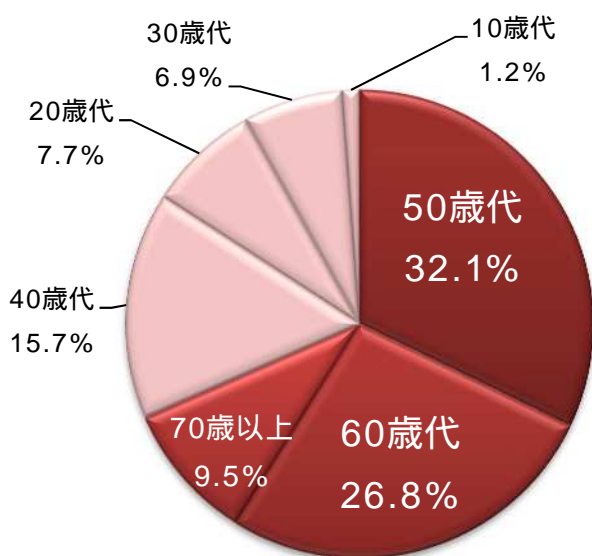


図-4 転倒災害における年代別労働災害発生状況 (平成 30 年)
資料：労働者死傷病報告

図-5 転倒災害における年代別性別労働災害発生状況 (平成 30 年)
資料：労働者死傷病報告

転倒災害の約 6 割は、「**通路**」(46.8%)や「**作業床**」(13.1%)で発生しています。

転倒災害は、通路や作業床、地面等が**水、油、雪**等で濡れていることによる**滑り**(39.7%)、通路等に置いてある**物等**への**つまずき**(31.0%)で**7 割以上**を占めています。

転倒災害の発生場所(起因物別)

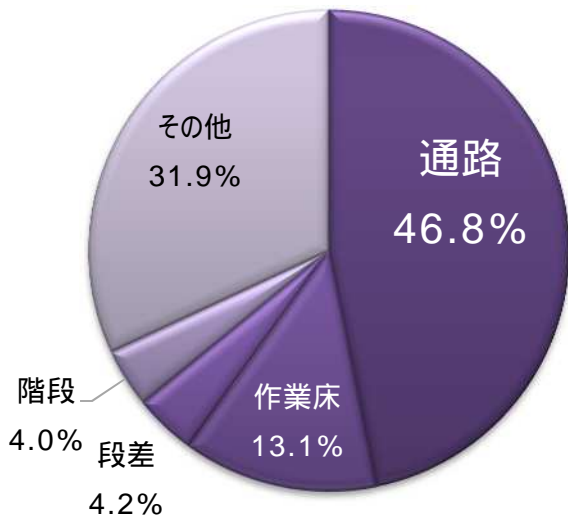


図-6 転倒災害の主な発生場所(起因物)(平成30年)
資料:労働者死傷病報告

転倒災害の発生原因

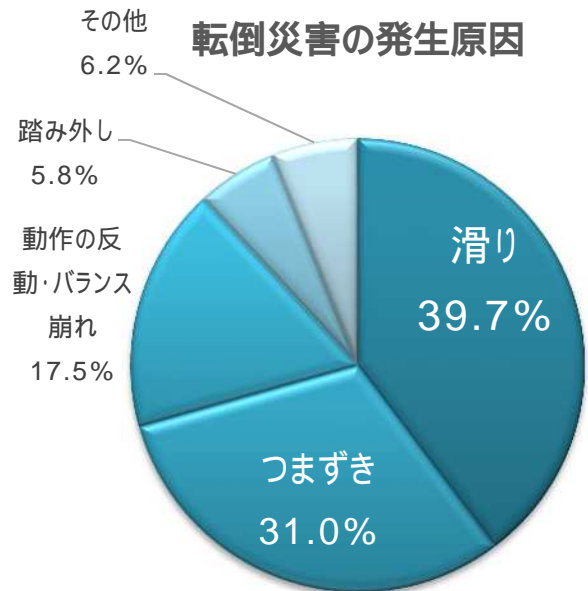


図-7 転倒災害における労働災害発生原因(平成30年)
資料:労働者死傷病報告

日頃から意識して転倒災害を防止しましょう！

4S(整理・整頓・清掃・清潔)を徹底しよう！

歩行場所に物を放置しない、床面の汚れを取り除く
床面の凸凹、段差の解消

転倒しにくい作業方法を実施しよう

時間に余裕を持って行動、滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
足元が見えにくい状態で作業しない

その他

移動や作業に適した靴の着用

職場の危険マップの作成による危険情報の共有

転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。
どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！